

綾道

ゆ
う
す
い
へ
ん
湧
水
編



綾道

あやんつ

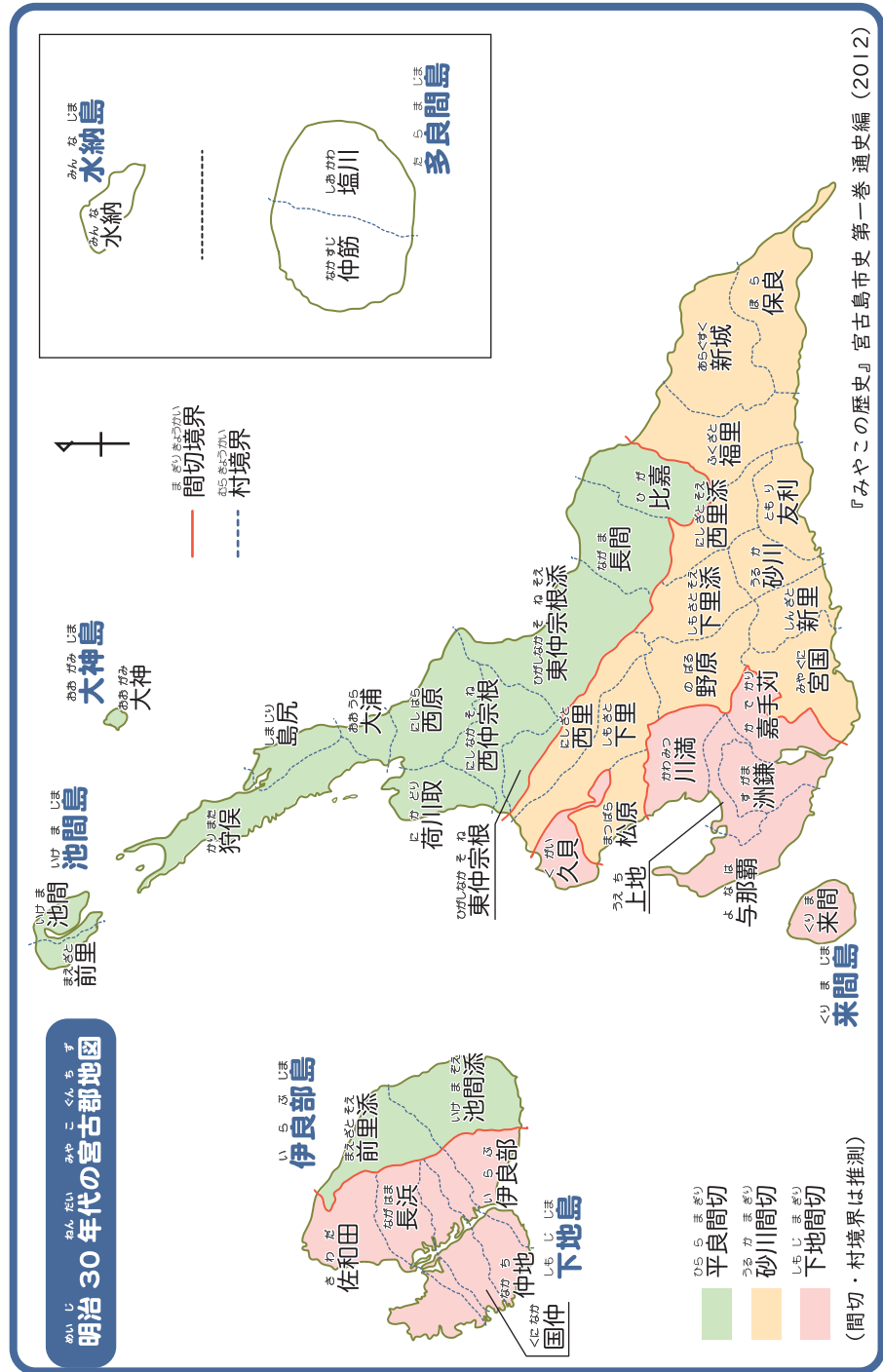
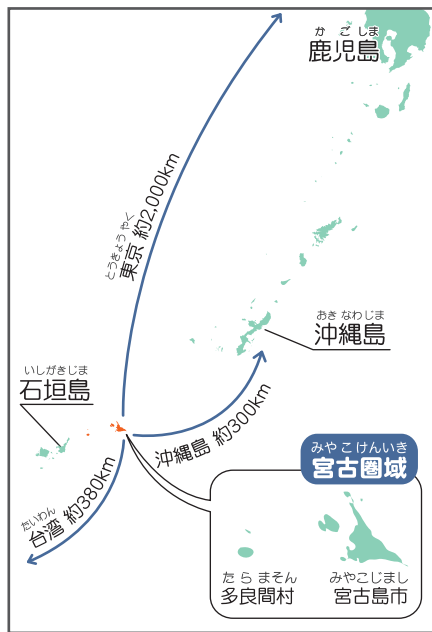
おもむき みち みやこ
「趣のある道」のことを、宮古のことばで「あやんつ」といいます

みやこしまし いち めんせき
宮古島の位置と面積

みや こしまし だいしやう しま みや こしま
宮古島市は大小6つの島(宮古島、
いけ ま しま おお がみ しま くり ま しま い ら ぶ しま しも
池間島、大神島、来間島、伊良部島、下
じ ま こう せい
地島)で構成されています。

総面積は204平方キロメートル、人
 口約5万6,000人で、人口の大部分は
 平良地区に集中しています。

しま ぜん たい へい たん さん がく ぶ おお
島全体がほぼ平坦で、山岳部や大き
な河川もなく、生活用水などのほとん
どを地下水に頼っています。



もくじ

宮古島市neo歴史文化ロード 綾道 湧水編

※御嶽は祭祀などを行う大切な場所です。むやみに立ち入らないようにしましょう。



● 無土器期、● グスク時代の遺跡の近くにある湧水・井戸 ● 明治以降に掘削された井戸 ● 市街地 湧水・井戸めぐり

宮古島市の位置と面積	2
明治30年代の宮古郡地図	3
散策マップ	6
湧水と人々の暮らし ～遺跡と湧水の位置～	6
宮古の地形と地質 ～地下水はどうやって溜まる？～	8
降り井から井戸へ	9
人が利用しやすい水は0.01%！	9
宮古の湧水のタイプ	10
人々と水 ～無土器期ってどんな時代？～	12
山川ウプカー 市指定有形民俗文化財	13
野城泉 市指定史跡	14
プイキヤー	15
城辺町の友利のあま井 県指定有形民俗文化財	16
金志川泉 市指定史跡	17
島尻マングローブ林 市指定天然記念物(植物)	18
湧水めぐりをするとときに気をつけること	19
湧水にくらす生き物たち	20
淡水生物が宮古のヒミツをにぎる！？	21
人々と水 ～鉄・鍛冶の伝来と水～	22
鍛冶の神さまは渡来人？	23
大規模工事も可能に	23
イザガー	24
白明川	25
ミヌズマ遺跡の井戸 市指定史跡	26
人々と水 ～農耕と稲作～	27
按司ぬ主泉	28

クスヌカー(ツガガー)	29
キヤーザ井 市指定有形民俗文化財	30
宮国のアナ井とアマ井 市指定史跡	31
神里ガー 市指定史跡	32
フナハガー 市指定史跡	33
人々と水 ～水汲みの労苦～	34
カーフカーヌカー (東井)	36
カータガー・ムッドゥマイガー	37
ズーガー (東の井)	38
唐井	39
市街地 湧水・井戸めぐり	40
大和井・大川 国指定史跡 ブトゥラガー	42
地盛井戸	44
ニスニヤーガー	45
人々と水 ～天水の利用～	46
深さ50m！の掘り井戸	47
新里のカーズク	47
人々と水 ～水道のはじまり～	48
人々と水 ～宮古を襲った干ばつ～	50
人々と水 ～地下ダムと水無し農業からの脱却～	52
地下水のしくみを明らかにした「ミンクレポート」	53
人々と水 ～宮古島市の水道事業～	54
「川」として親しまれる「崎田川」	56
地下水を災害対策につかう	57
文化財の体系図	58
それぞれの文化財の一例	58

湧水と人々の暮らし ～遺跡と湧水の位置～

● 無土器期(紀元前9～8世紀)の遺跡

★ 12～13世紀の遺跡

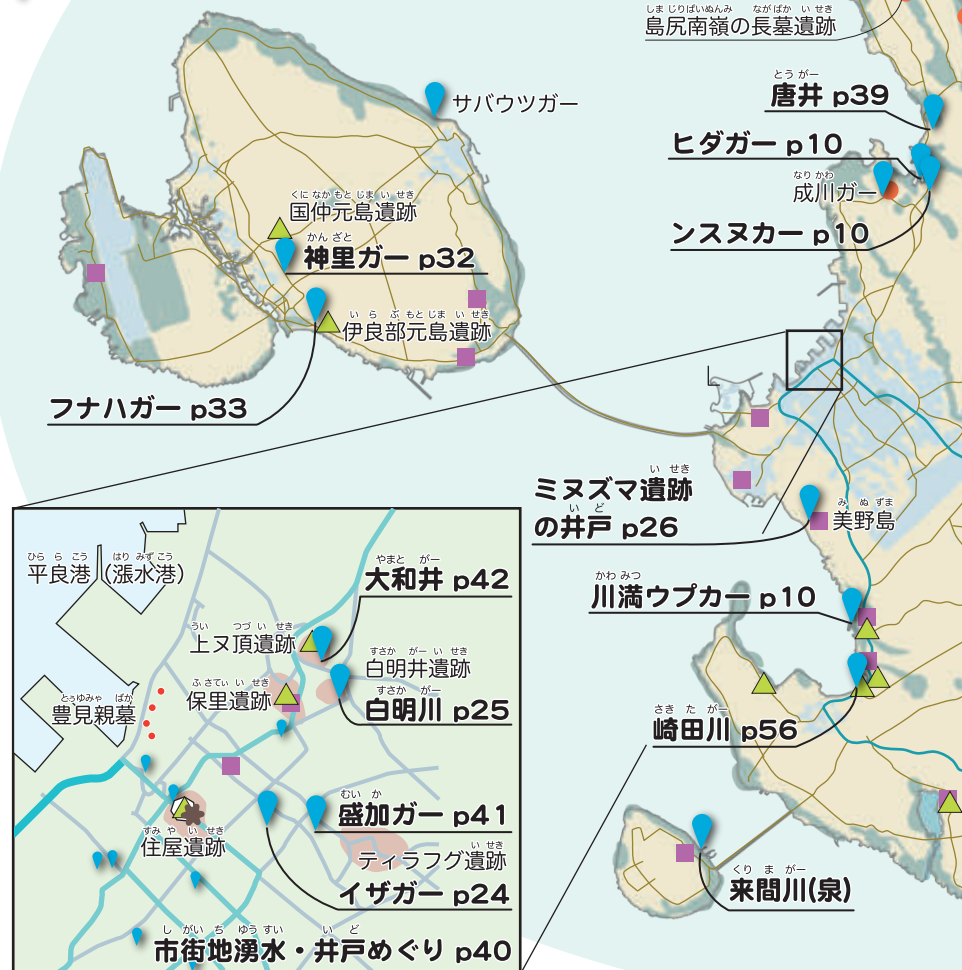
○ 13世紀の遺跡

▲ 14世紀の遺跡

■ 旧記(18世紀)に見る集落

● 湧水・井戸

11～16世紀を
「グスク時代」と呼ぶ



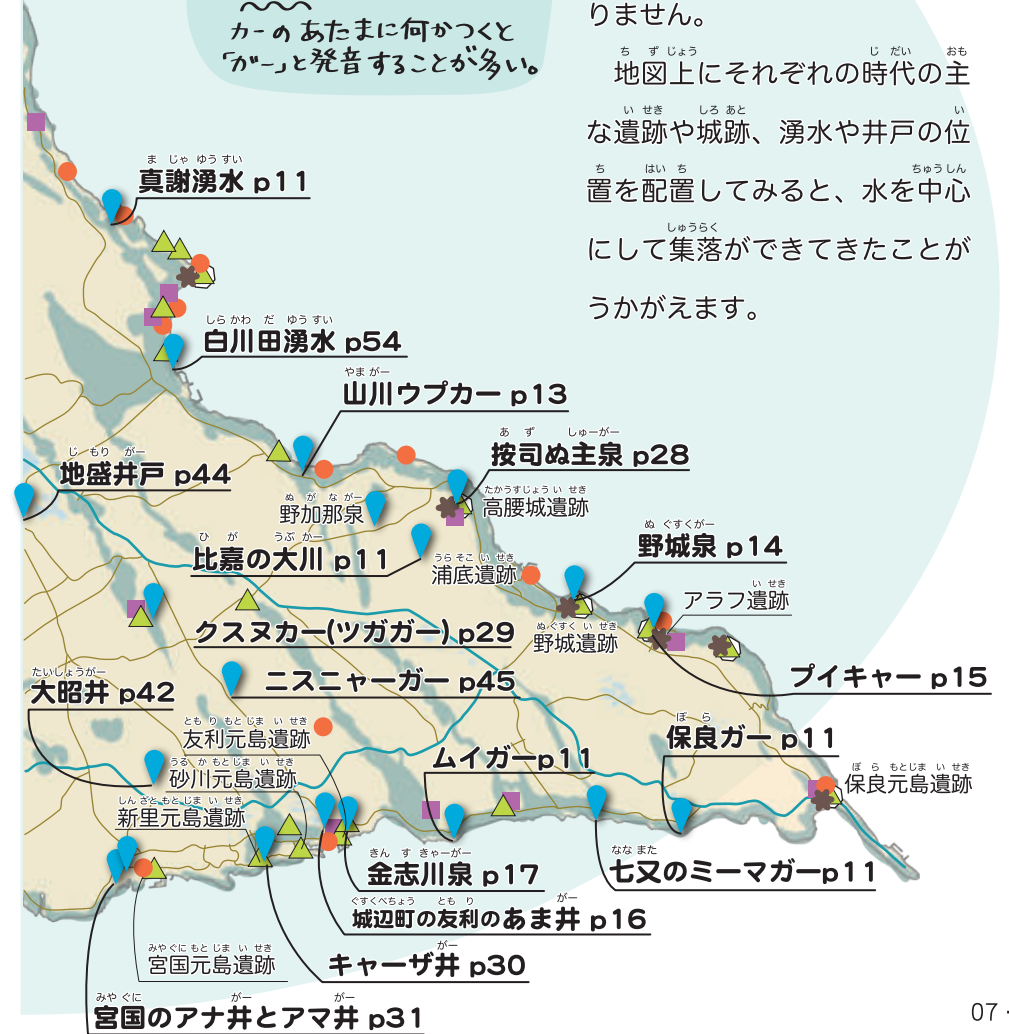
カフカーヌカー(東井) p36

宮古(宮古方言)
マ知識

湧水や井戸の方言は

カー × ガー
「○○カー」

カーのあたりに何かつく
「カー」と発音することが多い。



湧水とは、「地下水が自然の状態で湧き出している場所、または湧き出している水」をさします。宮古の方言で湧水や井戸のことを「カー」といいますが、いつから使われていたかははっきりと分かるものは多くありません。

地図上にそれぞれの時代の主な遺跡や城跡、湧水や井戸の位置を配置してみると、水を中心にして集落ができてきたことがうかがえます。

宮古の地形と地質 ~地下水はどうやって溜まる?~

地形が平坦で水が地中に吸収されやすい地質の宮古では、大きな河川はできませんが豊富な地下水があります。日本全体では降った雨の60%が地表を流れて川になります。宮古は10%が地表を流れ、40%が地下に浸透します。宮古の地質は、水を通しやすい表土の島尻マーゼと琉球石灰岩の下に、水を通しにくい砂岩と泥岩で形成された島尻層群があります。地下にしみ込んだ水は島尻層群から先には進めず、琉球石灰岩の小さな穴やすき間に溜まります。水はゆっくりと低い方へ流れ、琉球石灰岩と島尻層群の境目が地表に現れた場所から湧き出てきます。

宮古は、わたしたちの生活する場所と地下水のある場所が重なっています。そのため、地下水は人の活動の影響を受けやすくなっています。

浸透した水はこの地層のすき間からしみ出す

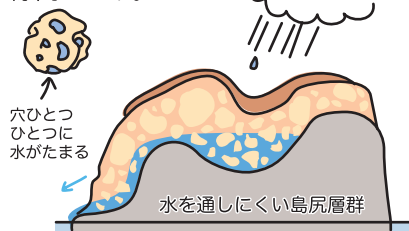


琉球石灰岩と島尻層群が露出する海岸(島尻)

実験してみよう!



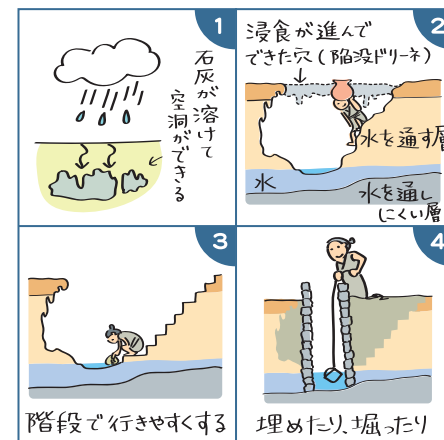
琉球石灰岩は隙間だらけ。



水を通しにくい層(島尻層群)が海面より上にあることで、地中に水を蓄える層(帯水層)ができる

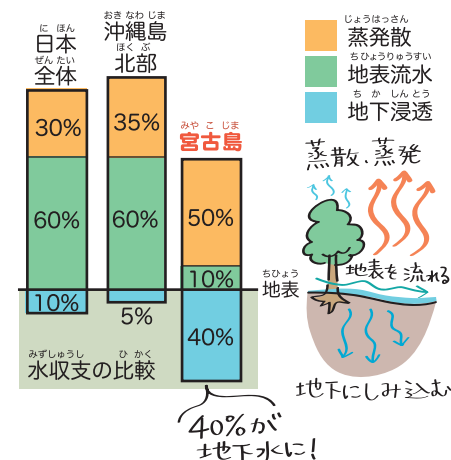
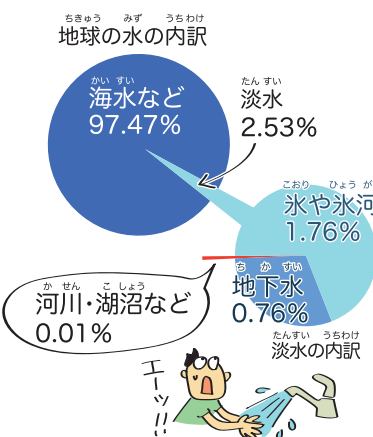
降り井から井戸へ

昔の人々は、はじめは陥没ドリーネからできた洞穴泉や湧水を自然のまま使っていたと考えられます。次第に歩きやすいように石段を築き、水を汲みやすいように湧き口を整え、やがて井戸をつくるようになったようです。



人が利用しやすい水は0.01%!

『水の惑星』地球には水が14億立方kmあるといわれていますが、その97.47%は海水などで、淡水は2.53%しかありません。淡水の多くは氷や氷河で、地下水が0.76%、人が利用しやすい河川・湖沼などは、なんと0.01%しかありません。



参考: 国土交通省2025年版『日本の水資源の現況』

『宮古島市史第3巻 自然編第II部』(2023)

宮古の湧水のタイプ

地下水がどんな場所から湧き出るかは、地表面からの島尻層群の位置や地形で決まります。断層活動で谷のような地形ができ、海面より上に水を通しにくい島尻層があることで多彩な湧水を生み出しています。宮古の湧水は大きく6つのタイプに分けられ、特に宮古島は、全てのタイプを観察することができます。

- 島尻マージ
- 琉球石灰岩層
- 島尻層
- 淡水
- 海水
- 湧水

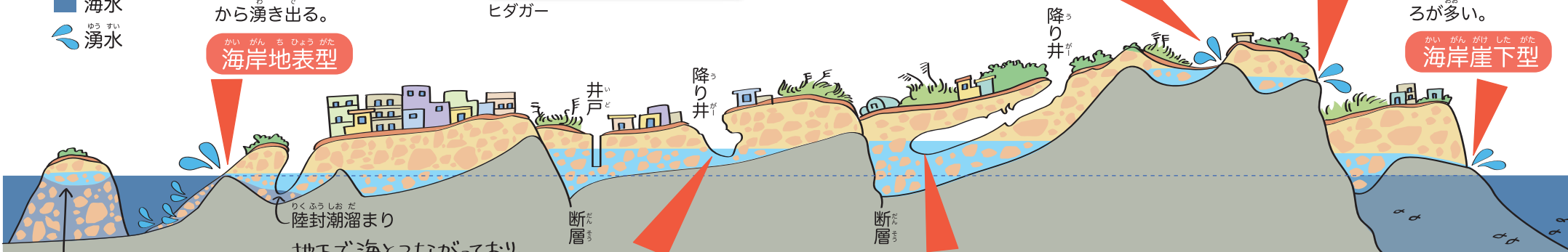
川満ウプカー
ヒダガー
ンスヌカー など



ヒダガー

海岸のすぐ近くから湧き出る。

海岸地表面型



陸封潮溜まり
地下で海とつながっており、海水がまぎったり
満月の干満で水位がかわる。



ブトゥー井

洞穴泉浅所型

地表面からさほど深くない洞穴の底から湧き出る。

大和井 スサカガー
ブトゥー井 など
按司ぬ主泉



比嘉の大川

アブガー
比嘉の大川

ピサガー
真謝湧水 など

内地の地表面からそれほど深くないところから湧き出る。

内地地表面型

白川田湧水
山川湧水
山川ウプカー
ブイキヤー
吉野湧水
保良ガー など



保良ガー

宮古諸島では宮古島だけにある。北東海岸でよく見られる。

海岸崖中腹型

ミーマガー
ムイガー
サバウツガー
来間川(泉) など

切り立った崖を降りていくところが多い。

海岸崖下型

洞穴泉深部型

地表面からかなり深い洞穴の底にある。

盛加ガー アナ井
イザガー フナハガー
友利のあま井 神里ガー
金志川泉 など
宮国のアマ井



友利のあま井



ムイガー

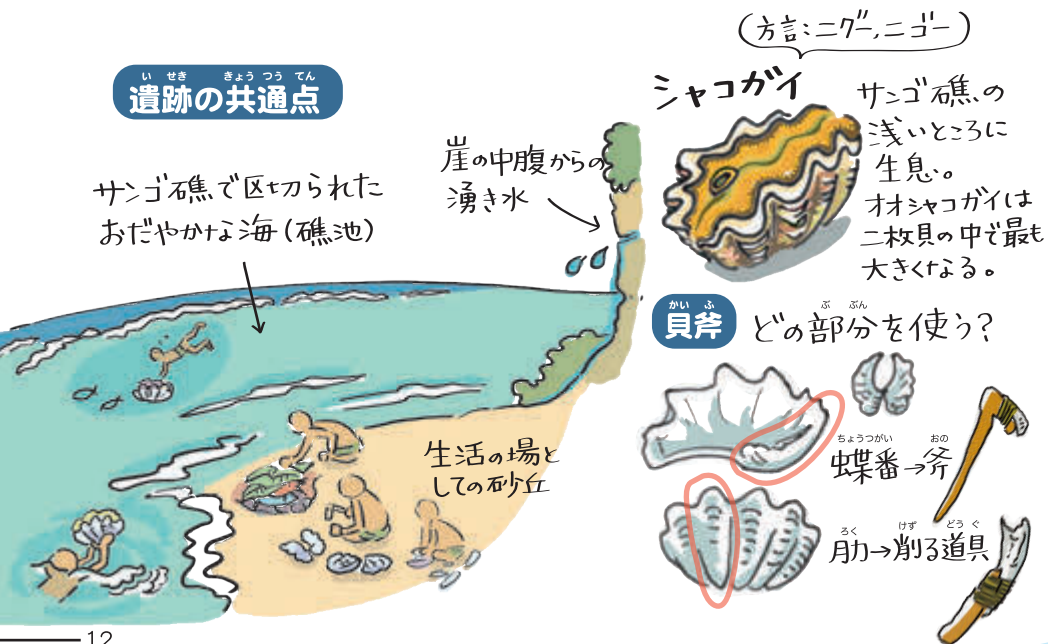
参考：『宮古島市史第3巻自然編第II部(2023)』渡久山章(湧水6タイプ)『宮古の湧水』(2006)

人々と水 ~無土器期ってどんな時代?~

無土器期（約2900～1300年前）は、文字通り「土器の無い」時代で、人々は貝や骨などを材料にした道具を使っていました。この時代は縄文後期から弥生、古墳時代に当たりますが、無土器の時代は宮古・八重山諸島だけで確認されています。

宮古の無土器期の遺跡は北東海岸で多く見つかり、環境条件に共通点があります。ひとつ目は崖の中腹から湧き出る水、ふたつ目は穏やかな礁池、3つ目は生活の場となる砂丘です。人が生きていく上で不可欠な水、食料を確保できる場所だったと考えられています。宮古の無土器期の特徴は、世界でも類を見ない多量のシャコガイ製の貝斧が出土したことです。シャコガイ製の貝斧はフィリピンや太平洋の島々でも見つかり、その北限となる宮古との関わりを示す要素といわれています。

遺跡の共通点



市指定有形民俗文化財

2002(平成14)年5月14日指定

やま がー

山川ウプカー



山川ウプカーは、なだらかな石畳を下りた先に小さな滝のように水が湧き出ており、豊富な水が海浜まで流れています。長間底海岸は宮古島で初めて確認された無土器期の遺跡が見つかっています。一帯は「長間田」と呼ばれる宮古でも有数の米産地で、琉球国王から仲宗根豊見親が賜った土地でもあり、民俗、歴史的にも重要な湧水です。1970年頃にウナギ養殖の水源にも利用されたそうです。

